現代経済の諸問題
Ⅰ 投票の状況

山邑紘史
(yamamura-h@soc.titech.ac.jp)

投票の状況

1.

2.

3.

⇒これをどうやって記述するか？

(1) 投票者の集合

- と表す。(n人の投票者がいる)

例

- 自民党の総裁選: N は自民党党員の集合
- 内閣不信任案の決議: N は衆議院議員の集合
- 会社の株主総会: N は株主の集合
- ゼミ合宿の場所決め: Nはゼミのメンバーの集合

(2) 選択肢の集合

- と表す。（有限集合とは限らない）

例

- 消費税の税率：$A = \{0\%, 1\%, 2\%, \ldots\}$
- ゼミ合宿の場所決め：$A = \{\text{北海道}, \text{長野}, \text{伊豆}\}$

(3) 投票者の選択肢に対する選好関係

$N = \{1,2,3\}$, $A = \{a,b,c\}$ とする

記号の定義

1. a $\succsim_1$ b ⇔
2. a $\sim_1$ b ⇔
   ⇔
3. a $\succ_1$ b ⇔
   ⇔

(3) 投票者の選択肢に対する選好関係

- : 投票者1の選好
- : 投票者2の選好
- : 投票者3の選好

(3) 投票者の選択肢に対する選好関係

- 選好に関する性質

1.

・・・全ての選択肢を「どちらを好むか」という観点で比較することができる

(3) 投票者の選択肢に対する選好関係

- 選好に関する性質

2.

・・・選好の順序が首尾一貫している

(3) 投票者の選択肢に対する選好関係

- 選好関係の例（ $A = \{北海道, 長野, 伊豆\}$ とする)
  - $北海道 \succ 長野 \sim 伊豆$
  - $伊豆 \succ 北海道 \succ 長野$

- 投票者の選好が強選好

⇔ [　　]

・・・無差別な選択肢の組が存在しない

投票の状況

- 投票の状況は,

によって表現される。

- N :
- A :
- $\succsim_i$: